

<会告>

コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会 成果報告会 《高松会場》  
および四国における品質確保に関するシンポジウム

行事コード：227042

開催日：2017年11月22日（水）

参加申込締切日：2017年11月14日（火）

コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会（229委員会、委員長：田村隆弘 国立高等専門学校機構・徳山工業高等専門学校 教授）は、2016年度の土木学会重点研究課題として、建設マネジメント委員会、土木情報学委員会、教育企画・人材育成委員会との連携で、1年間の活動を行いました。山口県でH19年度から運用されているコンクリート構造物のひび割れ抑制・品質確保システムと、それが発展した東北地方整備局管内の復興道路・復興支援道路等の品質確保・耐久性確保システムを、他の地域へも応用展開し、持続発展的なシステムへ総合化するために、技術規準の整備、建設マネジメントの観点からの制度・システムの議論と実践、データベースシステム・人材育成システムの構築と運用を目的としました。

本委員会が支援する形で活動期間中に整備し、講習会を実施した最新の知見を導入した規準は以下のとおりです。数百名規模の講習会を仙台（複数回）、久慈、釜石、福島、前橋、山口、東京等で重ね、社会実装を土木学会として支援、後押しをしました。ひび割れ抑制のための参考資料（案）の策定に際しては、設計、施工、検査、工事成績評価、コスト等にまたがる建設マネジメントの観点で、委員会のこれまでの主たる領域を拡大しつつ、議論を重ねました。さらに、全国展開の次の一手として、同様のシステムを熊本の復興に应用する準備を行いました。これらの手引き類の多くは、委員会報告書の巻末資料に含めました。品質確保・耐久性確保を推進していく上でのマネジメント的課題についての座談会も開催し、原稿を報告書に収めてあります。

- ・コンクリート構造物の品質確保の手引き（案）（橋脚、橋台、函渠、擁壁編）（東北地整）
- ・コンクリート構造物の品質確保の手引き（案）（トンネル覆工コンクリート編）（同上）
- ・ひび割れ抑制のための参考資料（案）（橋脚、橋台、函渠、擁壁編）（同上）
- ・東北地方における凍害対策に関する参考資料（案）（同上）
- ・凍結抑制剤散布下におけるRC床版の耐久性確保の手引き（案）（SIP）
- ・コンクリート構造物品質確保ガイド2017（山口県）

さらに、コンクリート構造物の高耐久化のためのフライアッシュ、高炉スラグ微粉末の有効利用の状況とマネジメント的課題について各地域の状況を調査し、報告書にまとめました。

この度、229委員会の終了にあたり、7月28日に東京で成果報告会を開催し、約120名の参加をいただきました。今回、四国、香川県高松市で地方報告会を開催することになりましたので奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。報告会に併せて、四国においてコンクリートの品質確保・耐久性確保を推進するため方策を議論するシンポジウムも開催します。なお、講習

会プログラムを一部変更する場合もございますので、予めご了承下さい。

・共催

土木学会コンクリート委員会（担当：コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会（229 委員会））〔主幹〕

インフラメンテナンス新技術勉強会 in 香川

・後援

国土交通省四国地方整備局（予定）、日本コンクリート工学会四国支部 ほか

・日時

2017年11月22日（水） 13時30分～17時30分（予定）

・場所

高松国際ホテル 瀬戸の間（〒760-0080 香川県高松市木太町 2191-1, TEL:087-831-1511）

（駐車場は多数ありますので、自家用車での利用が可能です）

・定員

150名

・参加費

正会員 4000円\*、非会員 5000円\*、学生 3000円（テキスト代含む）

（\*吉田博士記念基金への寄付金 500円を含む）

申込方法 土木学会ホームページ（<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>）から、または学会誌綴込みの「本部行事参加申込書」に所定事項（特に行事コード番号）を明記のうえ、研究事業課宛 FAXにてお申込みください。

支払方法は、現金払いはできませんので、必ず郵便振替および銀行振込を選択下さい。

申込書到着後、10日前後にて折り返し「参加券」をお送りいたします。

※申込みに関してお願い

(1) 申込締切日前に定員に達した場合についてはご了承ください。なお、締切日以降の事前受付はいたしません。ただし、定員に余裕がある場合のみ、行事当日に会場にて受付いたします。

(2) お申込み後、やむを得ずキャンセルされる場合は、必ず開催日の1週間前までに研究事業課宛ご連絡ください。ご連絡がない場合は、参加費を徴収させていただきますのでご了承ください。

(3) 申込みをされる前にご送金いただくことはトラブルの原因となりますので固くお断りいたします。

・申込締切

2017年11月14日（火）【必着】

・問合せ先

公益社団法人 土木学会コンクリート委員会（事務局担当：小川）

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目

TEL 03-3355-3559/FAX 03-5379-0125

・プログラム（予定）

<成果報告会>

- 13：30～13：40 委員長開会挨拶，趣旨説明  
田村 隆弘（高専機構・徳山高専）
- 13：40～14：30 東北復興道路の品質確保・耐久性確保システムの構築・実践と課題  
細田 暁（横浜国立大学）  
佐藤 和徳（日本大学）
- 14：30～15：00 山口県の品質確保システムの現状と課題  
二宮 純（NEXCO エンジニアリング中国）
- 15：00～15：10 休憩
- 15：10～15：50 各地域での取組み  
（群馬県，沖縄県，新潟県，九州地方整備局，熊本県，JR 西日本）
- 15：50～17：20 <四国における品質確保に関するシンポジウム>  
「四国におけるコンクリートの品質確保を推進するための課題」

登壇者

田村 隆弘（再掲）

細田 暁（再掲）

二宮 純（再掲）

佐藤 和徳（再掲）

他，四国側からは，発注者，施工者，材料，学界等で調整中

17：20～17：30 閉会挨拶

※プログラムは変更になる場合がございますが，御了承下さい。

・CPD

取得予定

・ホームページ

本報告会の案内は，土木学会の行事申し込みページの他，以下のホームページでも最新情報をご提供する予定です。

<https://sites.google.com/site/shikokuconcrete/>

(2017/10/17)